

<事業計画申請時>

◇課題

▼成長戦略として、県内産業の発展に資する技術者、新サービス開発担当者、デジタル技術者の育成支援を行っており、継続した支援が今後も重要

▼一方、少子化や大都市圏への人口流出に歯止めがかからず、地域社会の持続が困難な状況になっつつある

◇目的

上記課題及び県の戦略・総合計画に基づき、下記の支援に取り組む。

▼ものづくり技術者等の研究開発等の能力向上に資する実践的取組に対する助成

▼ものづくり技術等を活用し、地域課題解決に資する研究開発等を実施する人材育成に対する助成

◇都道府県の施策との連携・親和性

▼宮崎県の「みやざき産業振興戦略」の「みやざきの未来を切り拓く多様な産業人材の育成・確保」と合致

▼宮崎県総合計画2023の「人口減少・少子高齢化が当面続くことを前提とした社会のあり方を考え、それに応じた施策を展開しながら、暮らしに必要なサービスや産業の維持・活性化を図る」と合致

☒地域課題解決の取組や複数の地域支援機関の相互連携強化等の取組に該当する場合は、チェック☑してください。

「日本のひなた宮崎人材育成事業」

(概要)

県内中小・中堅企業等の従業員等の研究開発能力向上を目的に、単独または産学官連携で取り組むものづくり技術・新サービス開発・デジタル技術(ものづくり技術等)に係る研究開発、地域課題解決に向けたものづくり技術等を活用した研究開発等について、必要な経費の一部を助成する。

①地域課題解決人材育成

【単独型】1,000千円 【産学官連携型】 2,000千円

②ものづくり技術者育成

【単独型】1,000千円 【産学官連携型】 2,000千円

③新サービス開発担当者育成

【単独型】1,000千円 【産学官連携型】 2,000千円

④デジタル技術者育成

【単独型】 500千円 【産学官連携型】 1,000千円

(助成率) 地域課題解決人材育成 3/4 その他 2/3

(伴走支援内容)

- ・研究プラン策定助言(仮説の立て方、検証方法等)
- ・研究内容に対する大学、公設試、専門家等とのマッチング
- ・審査会前プレゼンテーション練習
- ・実施者の能力評価(助成申請時・事業完了時に評価)
- ・定期訪問等によるコーチング実施
- ・研究開発実施中の新たな問題発生に対する解決方法の助言

連携支援

みやざきイノベーションハブ(運営:宮崎大学)

(支援)

- ・研究プランに対する助言
- ・研究を通じた技術者等への指導

事業成果

◇Output

(人材育成)

▼技術者・サービス提供者の能力向上

(事業採択実績)

- ▼地域課題解決 5件
- ▼ものづくり 5件
- ▼新サービス 3件
- ▼デジタル技術 5件

◇Outcome

- ▼実用化
- ▼事業化
- ▼研究継続

継続支援

▼販路開拓支援(事業化)

▼設備投資等支援(事業化・実用化)

▼研究開発プラン策定支援(研究継続)

効果

◇直接効果

技術者・サービス提供者による

▼中小企業の技術力向上や競争力強化

▼技能の見える化による事業継続

▼地域課題解決に対する貢献

◇波及効果

▼従業員が活躍しやすい職場環境の醸造

▼新たな産業や市場の創出

▼中小企業から中堅企業への規模拡大

▼ローカルゼブラ企業の創出

県内産業の

持続・発展